通信・インターネット

1. 評価対象企業(14社)

カカクコム、エムスリー、ディー・エヌ・エー、グリー、GMOペイメントゲートウェイ、 Zホールディングス、サイバーエージェント、楽天、日本電信電話、KDDI、ソフトバンク (新規)、 NTTドコモ、GMOインターネット、ソフトバンクグループ

(証券コード協議会銘柄コード順)

2. 評価方法

(1) 評価基準の構成および配点

評価分野	下記本文中の略称	評価 項目(注)数	配点
①経営陣の IR 姿勢、IR 部門の機能、IR の基 本スタンス	経営陣の IR 姿勢等	4	33
②説明会、インタビュー、説明資料等における開示	説明会等	4	28
③フェア・ディスクロージャー	フェア・ディスクロージャー	3	10
④コーポレート・ガバナンスに関連する情報 の開示	コーポレート・ガバナンス関連	3	20
⑤各業種の状況に即した自主的な情報開示	自主的情報開示	2	9
計		16	100

- (注)評価項目の内容および配点は99頁参照
- (2) 評価実施アナリストは53名 (所属先29社) である。(100頁参照)

3. 評価結果

- (1) 総括(「ディスクロージャー評価比較総括表」(98頁)参照)
 - ① 本年度は、新規の企業を加えたほか、評価項目の整理・合理化を目的として、評価分野全般において、内容変更、配点変更(内容変更を含む)または項目削除を行い、評価を実施した。このため、昨年度と同列には比較できないが、本年度の総合評価平均点は72.3点(昨年度74.1点)、総合評価点の標準偏差は7.1点(昨年度5.5点)であった。
 - ② 業態別の総合評価平均点を見ると、通信(5 社:日本電信電話、KDDI、ソフトバンク、NTT ドコモ、ソフトバンクグループ)は 75.8 点(昨年度 75.2 点)、インターネット(9 社:カカクコム、エムスリー、ディー・エヌ・エー、グリー、GMOペイメントゲートウェイ、Zホールディングス、サイバーエージェント、楽天、GMOインターネット)は 70.3 点(昨年度 73.4 点)となり、通信がインターネットを上回った。なお、昨年度に比べ、インターネットがやや低下したため、両業態間の格差は拡大した。
 - ③ 5 つの評価分野毎に平均得点率 (評価対象企業の平均点/配点 〈以下省略〉) を見ると、**経営陣の IR 姿勢等** が 73% (昨年度 79%)、説明会等が 73% (昨年度 74%)、フェア・ディスクロージャーが 84% (昨年度 80%)、コーポレート・ガバナンス関連が 70% (昨年度 67%)、自主的情報開示が 61% (昨年度 65%) となり、フェア・ディスクロージャーおよびコーポレート・ガバナンス関連が改善した一方、他の 3 分野は低下した。
 - ④ 評価項目について見ると、次の3項目は平均得点率が90%以上で高水準となった。フェア·ディスクロージャーの2項目((b)(c))については、昨年度は共に80%台であったが、本年度は改善し90%以上となった。

- (a) 「会社主催の説明会 (電話会議を含む) に社長が出席していますか」 [4 回以上出席:満点] (平均得点率 98% [昨年度 95%]) (得点率 (評価点/配点〈以下省略〉): 100%13 社)
- (b) 「ウェブサイトで有用な情報提供や外国人投資家にも配慮した情報提供を行っていますか」(平均得点率 94% [昨年度 86%])(得点率: 100%2 社・90%台 11 社・80%1 社)
- (c) 「経営陣および IR 部門が情報開示に際し、投資判断や株式保有状況等にかかわらず、公平な機会を与えることに十分な注意を払っていますか」(平均得点率 91% [昨年度 86%])(得点率:100%2 社・90%台 9 社・85%2 社)
- ⑤ 一方、次の項目(**自主的情報開示**の中の1項目)は、昨年度より改善したものの、平均得点率は50%台にとどまり、他の項目に比べ低水準となった。
 - ・ 「会社の注目されるサービスないし施設・設備・事業を紹介する機会(記者発表会等を含む)を投資家向けにも設けており、それは有益でしたか」(平均得点率 54% [昨年度 48%])(得点率:30%台1社・40%台4社・50%台4社)

(2) 上位3企業の評価概要

第 1 位 **GMOペイメントゲートウェイ** (ディスクロージャー優良企業 [2 回連続 2 回目]、総合評価点 83.1 点 [昨年度比+0.3 点])

- ① 同社は、**経営陣の IR 姿勢等**(得点率〈以下省略〉88%)、説明会等(85%)、フェア·ディスクロージャー(94%)が第1位となり、コーポレート·ガバナンス関連が第5位(78%)、自主的情報開示が第9位(58%)となった。
- ② 経営陣の IR 姿勢等においては、4 項目全てが最も高い評価となったが、特に、「IR 部門の機能」は 90%超 の得点率であった。これに関し、経営陣および IR 部門による多面的な説明、対応等を高く評価する声が寄せられた。
- ③ 説明会等においては、4 項目中 3 項目が最も高い評価となり、1 項目についてトップと僅差であった。これに関し、決算説明会における質疑応答の内容および経営戦略や目標・KPI の明確性等を評価する声が寄せられた一方、説明や資料の内容についてさらに具体性を望む声もあった。
- ④ フェア・ディスクロージャーにおいては、「フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢」の 2 項目が最も高い評価となり、「ウェブサイトにおける情報提供」もトップと僅差であった。これに関し、情報開示について注意や配慮を十分に払っているとの声や、ビジネスモデルの説明が分かりやすいとの声が寄せられた。
- ⑤ コーポレート・ガバナンス関連においては、「目標とする経営指標等を公表し、その後の進捗状況・達成のための具体的方策が十分説明されていること」が最も高い評価となった。一方、「資本政策や株主還元策(配当・自社株買い・自社株消却等)の具体的な目標が明示され、合理的かつ十分に説明されていること」および「コーポレート・ガバナンスに関する考え方や取組姿勢が十分に説明されていること」は共に平均得点率をやや上回る程度にとどまった。これに関し、長期のビジョンや目標の開示を評価する一方、資本政策および株主還元の考え方や方向性、親子上場における子会社の独立性の説明が不足しているとの声も寄せられた。
- ⑥ **自主的情報開示**においては、「会社の注目されるサービスないし施設・設備・事業を紹介する機会(記者発表会等を含む)を投資家向けにも設け、有益であったこと」の得点率は、昨年度に比べ改善されたものの、平均得点率(54%)に達しなかった。また、「統合報告書、ファクトブックなどにおいて非財務情報(ESG情報等)の開示に積極的に取り組んでいること」も平均得点率(64%)をやや下回った。これに関し、ESGに関する取組や開示に改善の余地があるとの声や、統合報告書の作成を望む声が寄せられた。
- ⑦ なお、新型コロナウイルス関連の影響について可能な限り開示しようとする姿勢を評価する声が寄せられた。

これら同社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、同社を本年度の当業種における優良企業として選定した。

第2位 日本電信電話 (総合評価点 78.4 点 [昨年度比-3.8 点]、昨年度第2位)

① 同社は、自主的情報開示が第3位(77%)、経営陣の IR 姿勢等(79%)、コーポレート・ガバナンス関連(79%)

が第 4 位、フェア・ディスクロージャーが同得点第 4 位(87%)、説明会等が同得点第 5 位(75%)となった。なお、フェア・ディスクロージャーを除く 4 分野は、昨年度に比べ、おしなべて得点率が低下した。

- ② **経営陣の IR 姿勢等**においては、「会社主催の説明会(電話会議を含む)への社長の出席」の満点評価のほか、「会社主催の経営幹部とのミーティングにおいて有益なディスカッションができること」が評価された。これに関連し、中期戦略についての議論を評価する声が寄せられた。なお、「IR 部門の機能」および「IR の基本スタンス」が共に第4位となった。
- ③ 説明会等においては、「決算説明会における会社側の説明および質疑応答が十分に満足できること」が評価された。なお、「説明資料等(短信およびその付属資料を含む)における開示」の 3 項目については平均得点率と同程度であった。これに関し、経営陣の説明や回答が的確であると評価する声が寄せられた一方、海外事業の具体的な KPI の開示の充実を求める声もあった。
- ④ フェア・ディスクロージャーにおいては、「経営陣および IR 部門が情報開示に際し、投資判断や株式保有状況等にかかわらず、公平な機会を与えることに十分な注意を払っていること」および「ウェブサイトで有用な情報提供や外国人投資家にも配慮した情報提供を行っていること」が共に高く評価された。また、「投資家にとって重要と判断される事項(例えば、業績修正発表、新サービス・新技術・新製品、設備投資計画の変更、料金改定、法改正の影響、M&A等)の開示が、迅速かつ十分であること」については同得点第5位となった。
- ⑤ **コーポレート・ガバナンス関連**においては、「目標とする経営指標等を公表し、その後の進捗状況・達成のための具体的方策が十分説明されていること」が第 3 位、「コーポレート・ガバナンスに関する考え方や取組姿勢を十分に説明していること」が他社と共に第 3 位となった。また、「資本政策、株主還元策の開示」は他社と共に第 4 位となった。これらの結果、この分野においてトップと僅差の第 4 位の評価となった。
- ⑥ **自主的情報開示**においては、「統合報告書、ファクトブックなどにおいて非財務情報 (ESG 情報等)の開示 に積極的に取り組んでいること」が評価された。これに関し、アニュアルレポート、サステナビリティレポートのほか IR DAY を評価する声が寄せられた。

第 3 位 NTTドコモ (総合評価点 78.1 点 [昨年度比+0.3 点]、昨年度第 4 位)

- ① 同社は、**自主的情報開示**が第 1 位 (80%)、フェア·ディスクロージャーが第 2 位 (90%)、説明会等が第 3 位 (77%)、経営陣の IR 姿勢等 (77%)、コーポレート·ガバナンス関連 (76%) が第 6 位となった。
- ② 経営陣の IR 姿勢等においては、「会社主催の説明会(電話会議を含む)への社長の出席」の満点評価に加え、「会社主催の経営幹部とのミーティングにおいて有益なディスカッションができること」が同得点第3位となった。これに関し、スモールミーティング開催などの姿勢は評価できるが、より深い議論を望む声が寄せられた。なお、「IR 部門の機能」および「IR の基本スタンス」は共に平均得点率と同程度にとどまった。
- ③ 説明会等においては、説明資料等において、「キャッシュフロー計算書の実績および見通しが分かりやすく説明されていること」が評価された。また、「会計基準の変更・セグメント見直し・KPIの定義変更等があった場合においても、一貫性のある財務諸表比較ができるよう配慮されていること」も同得点第3位となった。さらに、「決算説明会における会社側の説明および質疑応答は十分に満足できること」は第5位となったものの、昨年度に比べ得点率および順位が共に改善した。
- ④ フェア・ディスクロージャーにおいては、「経営陣および IR 部門が情報開示に際し、投資判断や株式保有状況等にかかわらず、公平な機会を与えることに十分な注意を払っていること」および「ウェブサイトで有用な情報提供や外国人投資家にも配慮した情報提供を行っていること」が共に満点評価となったほか、「投資家にとって重要と判断される事項(例えば、業績修正発表、新サービス・新技術・新製品、設備投資計画の変更、料金改定、法改正の影響、M&A等)の開示が迅速かつ十分であること」も評価された。
- ⑤ **コーポレート・ガバナンス関連**においては、「コーポレート・ガバナンスに関する考え方や取組姿勢が十分に 説明されていること」が第2位、「目標とする経営指標等の開示」が第5位となった。
- ⑥ **自主的情報開示**においては、2項目共に最も高い評価となり、この分野において第 1 位の評価となった。これに関し、R&D 説明会、5 G に関する説明会、統合報告書およびサステナビリティレポートを評価する声が寄せられた。

以 上

2020年度 ディスクロージャー評価比較総括表 (通信・インターネット)

対象性	COLO+/ス	要	要	·		2. 説明会、インタ	だュー、	3. 747.7179	77	4. コーポレート		5. 各業種の状況	に即した	· ()
評価項目 課価目 工 工 工 工 工 工 工	評価項目	2	令 葬 角	IR部門の機能、I の基本スタンス	機能、IR		**************************************	↑ 1 1		ンスに関連の開示	10		派	指回
(配点38点) (配点28点) (配点10点) (配点20点) (配点30点) (日本)			(100点)	IIII.	評価項目4	福	F価項目4		6個項目3	lfila	平価項目3	福	価項目2	順 位
29.1 1 23.8 1 9.4 1 15.6 5 5.2 9 26.1 4 21.0 5 8.7 4 15.7 4 6.9 3 26.4 3 21.5 3 9.0 2 15.1 6 72 11 26.4 3 22.7 2 8.6 6 15.8 3 4.5 11 26.4 3 22.7 2 8.6 6 15.8 3 4.5 11 26.9 5 21.0 5 8.9 3 15.9 6.0 4 26.9 2 21.1 4 8.2 9 14.5 7 5.7 7 26.9 2 21.1 4 8.2 9 14.5 7 5.4 7 22.4 11 20.8 7 8.4 7 13.8 8 4.7 10 23.1 15 <t< th=""><th>評価対象企業</th><th></th><th>•</th><th></th><th>配点 33点) 順位</th><th>_</th><th>1点 28点) 順位</th><th>_</th><th>点 10点) 順位</th><th>_</th><th>3点 20点) 順位</th><th>~ </th><th>点 9点) 順位</th><th></th></t<>	評価対象企業		•		配点 33点) 順位	_	1点 28点) 順位	_	点 10点) 順位	_	3点 20点) 順位	~	点 9点) 順位	
26.1 4 21.0 5 8.7 4 15.7 4 6.9 3 25.3 6 21.5 3 9.0 2 15.1 6 7.2 1 26.4 3 22.7 2 8.6 6 15.8 3 4.5 11 25.9 5 21.0 5 8.9 3 15.9 2 6.0 4 24.8 7 20.2 8 8.7 4 16.2 1 7.0 2 26.9 2 21.1 4 8.2 9 14.5 7 5.7 7 26.9 2 21.1 4 8.2 9 14.5 7 5.7 7 24.4 8 20.0 9 8.3 8 13.5 4.7 10 22.4 11 20.8 7 8.4 7 13.8 8 4.7 10 23.1 15 <t< td=""><td>GMOペイメントゲートウェイ</td><td></td><td>83.1</td><td>29.1</td><td>1</td><td>23.8</td><td>1</td><td>9.4</td><td>1</td><td>15.6</td><td>5</td><td>5.2</td><td>6</td><td></td></t<>	GMOペイメントゲートウェイ		83.1	29.1	1	23.8	1	9.4	1	15.6	5	5.2	6	
25.3 6 21.5 3 9.0 2 15.1 6 7.2 7.2 1 26.4 3 22.7 2 8.6 6 15.8 3 4.5 11 25.9 5 21.0 5 8.7 4 16.2 1 7.0 4 11 7.0 4 16.2 1 7.0 4 11 7.0 7 6.0 4 7 14.5 7 5.7 7 7 2 7 2 7 4 8 8.3 8 14.5 7 5.7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 8 7 8 8 4.7 1 1 1 1 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 <			78.4	26.1	4	21.0	2	8.7	4	15.7	4	6.9	3	2
26.4 3 22.7 2 8.6 6 15.8 3 4.5 11 25.9 5 21.0 5 8.9 3 15.9 2 6.0 4 24.8 7 20.2 8 8.7 4 16.2 1 7.0 2 26.9 2 21.1 4 8.2 9 14.5 7 5.7 7 24.4 8 20.0 9 8.3 8 13.5 9 6.0 4 22.4 11 20.8 7 8.4 7 13.8 8 4.7 10 23.0 10 19.0 11 8.2 9 12.3 11 5.4 8 23.1 9 19.9 10 7.8 13 11.3 11.3 11.3 11.4 5.4 14 12 20.4 11 11.0 12 12 12 12 14 12			78.1	25.3	9	21.5	3	9.0	2	15.1	9	7.2	1	4
25.9 5 8.9 3 15.9 2 6.0 4 24.8 7 20.2 8 8.7 4 16.2 1 7.0 2 26.9 2 21.1 4 8.2 9 14.5 7 5.7 7 24.4 8 20.0 9 8.3 8 13.5 9 6.0 4 22.4 11 20.8 7 8.4 7 13.8 8 4.7 10 23.0 10 19.0 11 8.2 9 12.3 11 5.4 8 23.1 9 19.9 10 7.8 13 11.9 13 5.4 14 14 20.4 13 17.8 13 11.3 11.3 14 12 14 20.4 13 17.8 13 17.9 11 12.0 4.4 12 24.08 14 14.0 1			78.0	26.4	3	22.7	2	8.6	9	15.8	8	4.5	11	5
26.9 7 20.2 8 8.7 4 16.2 1 7.0 7 7 7 7 26.9 20.9 21.1 4 8.2 9 14.5 7 5.7 7 24.4 8 20.0 9 8.3 8 13.5 9 6.0 4 22.4 11 20.8 7 8.4 7 13.8 8 17.8 10 4 10 4 10 10 4 10			7.77	25.9	2	21.0	2	8.9	3	15.9	2	6.0		未実施
26.9 21.1 4 8.2 9 14.5 7 5.7 7 24.4 8 20.0 9 8.3 8 13.5 9 6.0 4 22.4 11 20.8 7 8.4 7 13.8 8 4.7 10 23.0 10 19.0 11 8.2 9 12.3 11 8.4 8 10			6.97	24.8	7	20.2	8	8.7	4	16.2	1	7.0	2	3
24.4 8 8.3 8 13.5 9 6.0 4 22.4 11 20.8 7 8.4 7 13.8 8 4.7 10 23.0 10 19.0 11 8.2 9 12.3 11 5.4 8 23.1 9 19.9 10 7.8 13 11.9 14 5.4 8 20.4 12 18.1 12 7.8 13 11.3 14 5.8 6 20.4 13 17.8 13 7.9 11 12.6 10 4.4 12 17.8 14 17.6 14 7.9 11 12.0 4.0 13 24.08 14 17.6 14 7.9 11 14.02 5.45 13	サイベーエージェント		76.4	26.9	2	21.1	4	8.2	6	14.5	2	5.7	2	9
23.4 11 20.8 7 84 7 13.8 8 4.7 10 23.0 10 19.0 11 8.2 9 12.3 11 5.4 8 23.1 9 12.3 11 11.9 13 14 8 14 8 20.4 13 12.8 13 7.9 11 12.6 10 4.4 12 12 17.8 14 17.6 14 7.9 11 12.0 4.0 13 13 14.02 12 4.0 13	Zホールディングス		72.2	24.4	8	20.0	6	8.3	8	13.5	6	6.0	4	8
23.0 10 19.0 11 8.2 9 12.3 11 5.4 8 23.1 9 19.9 10 7.8 13 11.9 13 3.5 14 21.6 12 18.1 12 7.8 13 11.3 14 5.8 6 20.4 13 17.8 13 7.9 11 12.6 10 4.4 12 17.8 14 17.6 14 7.9 11 12.0 4.0 13 24.08 13 8.41 14.02 5.45 13	GMOインターネット		70.1	22.4	11	20.8	7	8.4	7	13.8	∞	4.7	10	7
23.1 9 19.9 10 7.8 13 11.9 13 13.5 14 5.8 6 21.6 12 18.1 12 7.9 11 12.6 10 4.4 5.8 6 20.4 13 17.6 14 7.9 11 12.0 12 4.0 13 24.08 13 20.31 8.41 14.02 14.02 5.45 13	ソフトバンカゲループ		67.9	23.0	10	19.0	111	8.2	6	12.3	11	5.4	8	12
21.6 12 18.1 12 7.8 13 11.3 11.3 14 5.8 6 20.4 13 17.8 13 7.9 11 12.6 10 4.4 12 17.8 14 17.6 14 7.9 11 12.0 13 13 24.08 3 20.31 8.41 14.02 5.45 13			66.2	23.1	6	19.9	10	7.8	13	11.9	13	3.5	14	13
20.4 13 7.9 11 12.6 10 4.4 12 17.8 14 17.6 14 7.9 11 12.0 12 4.0 13 24.08 20.31 8.41 14.02 5.45 75 75			64.6	21.6	12	18.1	12	7.8	13	11.3	14	5.8	9	6
17.8 14 17.6 14 7.9 11 12.0 12 4.0 24.08 20.31 8.41 14.02 5.45	ディー・エヌ・エー		63.1	20.4	13	17.8	13	7.9	11	12.6	10	4.4	12	10
24.08 20.31 8.41 14.02			59.3	17.8	14	17.6	14	7.9	111	12.0	12	4.0	13	
	評価対象企業評価平均点	_	72.27	24.08		20.31		8.41		14.02		5.45		

2020年度評価項目および配点(通信・インターネット) 【評価対象期間:2019年7月~2020年6月】

1. 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス(33点)	配点
(1)経営陣のIR姿勢	
①会社主催の説明会(電話会議を含む)に社長が出席していますか。 [4回以上:3点 3回:2点 1~2回:1点 なし:0点]	3
②会社主催の経営幹部とのミーティングにおいて、有益なディスカッションができますか。	10
(2)IR部門の機能	
・IR部門に十分な情報が集積されており、IR担当者と有益なディスカッションができますか。	10
(3)IRの基本スタンス	
・会社にとって都合の悪い情報、自社の弱点、低収益あるいは赤字の事業についても情報開示を後退さ せることなく、積極的な開示を行い、今後の改善の展望を示していますか。	10
2.説明会、インタビュー、説明資料等における開示(28点)	配点
(1)説明会、インタビューにおける開示	
・決算説明会における会社側の説明および質疑応答は十分に満足できるものですか。	10
(2)説明資料等(短信およびその付属資料を含む)における開示	
①アナリスト・投資家が分析・投資判断に有用な主要項目(オペレーションデータ等)の実績および見通しは、十分に開示されていますか。また、情報開示の後退はありませんか。	10
②キャッシュフロー計算書の実績および見通しは、分かりやすく説明されていますか。	3
③会計基準の変更・セグメント見直し・KPIの定義変更等があった場合においても、一貫性のある財務 諸表比較ができるよう配慮されていますか。	5
3. フェア・ディスクロージャー(10点)	配点
(1)フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢	
①経営陣およびIR部門が情報開示に際し、投資判断や株式保有状況等にかかわらず、公平な機会を与えることに十分な注意を払っていますか。	2
②投資家にとって重要と判断される事項(例えば、業績修正発表、新サービス・新技術・新製品、設備 投資計画の変更、料金改定、法改正の影響、M&A等)の開示は、迅速かつ十分ですか。	6
(2)ウェブサイトにおける情報提供	
・ウェブサイトで有用な情報提供や外国人投資家にも配慮した情報提供を行っていますか。 [十分である:2点 やや不十分:1点 その他:0点]	2
4. コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示(20点)	配点
(1)コーポレート・ガバナンスに関する開示	
・コーポレート・ガバナンスに関する考え方や取組姿勢を十分に説明していますか。	6
(2)資本政策、株主還元策の開示	
・資本政策や株主還元策(配当・自社株買い・自社株消却等)の具体的な目標が明示され、合理的かつ 十分に説明されていますか。	10
(3)目標とする経営指標等の開示	
・目標とする経営指標等を公表し、その後の進捗状況・達成のための具体的方策が、十分に説明されていますか。	4
5. 各業種の状況に即した自主的な情報開示 (9点)	 配点
①会社の注目されるサービスないし施設・設備・事業を紹介する機会(記者発表会等を含む)を投資家 向けにも設けており、それは有益でしたか。 「過去1年間を目安に評価〕	3
②統合報告書、ファクトブックなどにおいて非財務情報(ESG情報等)の開示に積極的に取り組んでい	

通信・インターネット専門部会委員

部 会 長 増野 大作 野村證券

部会長代理 大谷 章夫 東京海上アセットマネジメント

安藤 義夫 大和証券

 醒井
 周太
 ニッセイアセットマネシ・メント

 寺島
 正
 大和アセットマネシ・メント

 森
 はるか
 JP モルガ・ン証券

評価実施アナリスト(53名)

鈴木 崇生 赤羽 高 東海東京調査センター 大和証券 浅川 直騎 朝日ライフ アセットマネシ・メント 高田 穣 三菱 UFJ 国際投信 安藤 義夫 大和証券 高橋 圭 UBS 証券 三菱 UFJ 信託銀行 石井 孝一郎 田中 秀明 三菱 UF.J モルカ ン・スタンレー証券 石原 太郎 大和証券 鶴尾 充伸 シティグ・ループ。証券 井槌 紗也 第一生命保険 寺島 正 大和アセットマネジメント 土門 泰 伊藤 彰洋 三井住友 DS アセットマネジメント りそなアセットマネジメント 野村アセットマネジメント 鳥居 彩 岩渕 啓介 岡三証券 上野 賢司 SOMPOアセットマネジメント 長尾 佳尚 野村證券 大浦 裕太 第一生命保険 中川 雅嗣 三菱 UFJ 国際投信 中島 智也 丸三証券 大谷 章夫 東京海上アセットマネジメント 大場 剛平 野村アセットマネジメント 滑川 晃 シュロータ゛ー・インヘ゛ストメント・マネシ゛メント 風早 隆弘 クレディ・スイス証券 納 博司 いちよし経済研究所 金森 都 SMBC 日興証券 樋口 夏子 三井住友トラスト・アセットマネシ゛メント 神谷 悠介 SOMPOアセットマネジメント 兵庫 真一郎 三菱 UFJ 信託銀行 菊池 悟 SMBC 日興証券 雄介 みずほ証券 堀 城戸 謙治 アセットマネシ゛メント One 前田 栄二 SMBC 日興証券 增野 大作 久保山 浩之 アセットマネシ゛メント One 野村證券 栗原 智也 東海東京調査センター 水野 要 東京海上アセットマネジメント 高口 伸一 三井住友トラスト・アセットマネジ・メント 峯嶋 利隆 ニッセイ アセット マネシ゛メント JP モルガン証券 小林 守伸 ニッセイ アセット マネシ・メント 森 はるか 斎藤 佳奈 三井住友トラスト・アセットマネジメント 森田 正司 岡三証券 酒井 文義 クレディ・スイス証券 安田 秀樹 エース経済研究所 佐藤 啓吾 ニッセイ アセット マネシ゛メント 横山 雄一 三菱 UFJ 信託銀行 醒井 周太 ニッセイ アセット マネシ゛メント 若尾 正示 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 三井住友 DS アセットマネジメント 澤田 遼太郎 エース経済研究所 渡辺 洋之 山藤 秀明 QUICK

(注) 上記各アナリストの評価実施企業は、各人それぞれ異なることに留意。